

感 染 制 御 部

著 書

- 1 青木洋介, 高柳 恵, 永沢善三, 三原由起子, 福岡麻美: 新感染症学 (上) (山口恵三, 編) 534-537, 日本臨床社・東京 2007.
- 2 青木洋介: 認定内科医・認定内科専門医受験のための演習問題と解説「第3集」(初版) (石橋大海, 編) 111-115, 医学書院・東京 2007.
- 3 青木洋介: カーラーで学べる病理学 (第2版, 4刷) (渡辺照男, 編) 81-90, ヌーベルヒロカワ・東京 2007.

原 著

- 1 °Kuroki T, Ohta A, Aoki Y, Kawasaki S, Sugimoto N, Ohtani H, Tsunada S, Iwakiri R, Fujimoto K: Stress maladjustment in the pathoetiology of ulcerative colitis. *J. Gastroenterol.* 42, 522-527. 2007.
- 2 °小林弘美, 清川真貴子, 福岡麻美, 田中将英, 福野裕次, 荒金尚子, 林真一郎: 肺膿瘍の経過中に認められた感染性肺動脈仮性動脈瘤の1例. *日本呼吸器学会雑誌* 45, 627-630, 2007.
- 3 °三田村未央, 福岡麻美, 春田善男, 小荒田秀一, 多田芳史, 長澤浩平: 多彩な症状を呈しイヌ回虫幼虫移行症が疑われた1例. *感染症学雑誌* 81, 305-308, 2007.
- 4 °Haruta Y, Koarada S, Tada Y, Mitamura M, Ohta A, Fukuoka M, Hayashi S, Nagasawa K: High expression of Toll-like receptor 4 on CD14+ monocytes in acute infectious diseases. *Scand J Infect Dis.* 39, 577-583. 2007.

総 説

- 1 青木洋介: 自施設の抗菌薬感受性度・耐性度. *感染対策 ICT ジャーナル* 2, 109-112, 2007.
- 2 青木洋介: MRSA 感染の日常対策. *メディカル朝日* 6, 88-89, 2007.
- 3 青木洋介: 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 999, 49-50, 2007.
- 4 青木洋介: この患者は市中肺炎か?. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1000, 31-32, 2007.
- 5 青木洋介: 多診療科における感染性心内膜炎の予防. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1001, 39-40, 2007.
- 6 青木洋介: 症例提示. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1002, 61-61, 2007.
- 7 青木洋介: Anchoring. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1003, 41-41, 2007.
- 8 青木洋介: 症例提示. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1004, 46-46, 2007.
- 9 青木洋介: 症例提示. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1005, 48-48, 2007.
- 10 青木洋介: 症例提示. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1006, 26-26, 2007.
- 11 青木洋介: 症例提示. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1007, 37-38, 2007.
- 12 青木洋介: 発熱と解熱. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1008, 46-47, 2007.
- 13 青木洋介: 症例提示. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1009, 30-30, 2007.
- 14 青木洋介: 抗菌薬の適正使用について. 医界佐賀「臨床検査一口メモ」 1010, 62-62, 2007.
- 15 福岡麻美, 永田正喜, 三原由起子, 青木洋介: 中心静脈カテーテルの種類と材質評価. *感染対策 ICT ジャーナル* 2, 373-377, 2007.
- 16 福岡麻美, 三原由起子, 青木洋介: MRSA に対する新たな感染対策—Active surveillance culture

の意義一. 最新医学 62, 202-206, 2007.

学会発表

全国規模の学会

- 1 青木洋介：日常の MRSA 感染対策の実際（シンポジウム）。第22回日本環境感染学会総会。2007, 2, 24. 環境感染 22, 138.
- 2 青木洋介：病原微生物とホストを一体で捉えた ICD 活動。第48回 ICD 講習会(第81回日本感染症学会総会)。2007, 4, 11. ICD 講習会抄録 6-7.
- 3 青木洋介, 永沢善三, 草場耕二, 高柳 恵, 福岡麻美：緑膿菌感染症におけるカルバペネム系抗菌薬の PHARMACOKINETICS に関する検討。第55回日本化学療法学会総会。2007, 6, 2. 日本化学療法学会雑誌 55, 201.
- 4 青木洋介：市中感染症における抗菌薬の使用法。日本化学療法学会 第1回抗菌薬適正使用セミナー。2007, 10, 25. 講演要旨 9-15.
- 5 青木洋介：Commentator (院内感染症 case study)。日本化学療法学会 第2回抗菌薬適正使用セミナー。2007, 10, 29. 講演要旨 23-32.
- 6 °江口 仁, 福岡麻美, 永田正喜, 青木洋介, 長澤浩平, 永沢善三, 草場耕二：下肢蜂窩織炎から急速にショック, 多臓器障害に進展した劇症型A群連鎖球菌感染症の1例。第77回日本感染症学会西日本地方会総会。2007, 11, 15. 抄録集 72.
- 7 °高柳 恵, 中島由佳理, 草場耕二, 永沢善三, 三原由起子, 福岡麻美, 青木洋介：抗 MRSA 薬と MUP 耐性MRSA株の疫学解析について。第22回日本環境感染学会総会。2007, 2, 23. 環境感染 22, 258.
- 8 °高柳 恵, 中島由佳理, 草場耕二, 永沢善三, 福岡麻美, 青木洋介：(1→3)β-D-グルカン測定における変動因子の検討。第18回日本臨床微生物学会総会。2007, 2, 17. 日本臨床微生物学会雑誌 16, 151.
- 9 °高柳 恵, 中島由佳理, 草場耕二, 永沢善三, 福岡麻美, 青木洋介, 花木秀明, 永山在明：自動細菌検査装置3機種による OS-MRSA 検出の比較検討。第18回日本臨床微生物学会総会。2007, 2, 17. 日本臨床微生物学会雑誌 16, 166.
- 10 °中島由佳理, 高柳 恵, 草場耕二, 永沢善三, 福岡麻美, 青木洋介：血液培養陽性検体を直接用いた VITEK2 による同定・感受性の比較検討。第18回日本臨床微生物学会総会。2007, 2, 17. 日本臨床微生物学会雑誌 16, 96.
- 11 永田正喜, 福岡麻美, 青木洋介：MRSA 肺炎の診断における5つのチェックリストの有用性についての検討。第77回日本感染症学会西日本地方会総会。2007, 11, 15. 抄録集 58.
- 12 福岡麻美, 青木洋介, 三原由起子, 永沢善三, 草場耕二, 高柳 恵, 中島由佳理：佐賀大学医学部附属病院におけるカテーテル関連血流感染：血液培養陽性症例からの検討。第22回日本環境感染学会総会。2007, 2, 24. 環境感染 22, 288.
- 13 福岡麻美：感染症診療における感染症内科医の役割と微生物検査室の役割(シンポジウム)。第18回日本臨床微生物学会総会。2007, 2, 18. 日本臨床微生物学会雑誌 16, 59.
- 14 福岡麻美：ICD が注意すべき細菌感染症：意外と見過ごされている病院内感染性下痢症：Clostridium difficile。第59回 ICD 講習会(第77回日本感染症学会西日本地方会)。2007, 11, 16. 抄録集 49.
- 15 福岡麻美, 青木洋介, 長澤浩平：佐賀大学医学部附属病院における卒後初期臨床研修における感染

症教育. 第81回日本感染症学会総会. 2007, 4, 11. 感染症学雑誌 81, 173.

- 16 福岡麻美：ケーススタディー(カテーテル関連血流感染). 日本化学療法学会 第2回抗菌薬適正使用セミナー. 2007, 10, 29. 講演要旨 23-28.
- 17 〇山地康太郎, 福岡麻美, 永田正喜, 青木洋介, 長澤浩平, 永沢善三, 草場耕二：佐賀大学医学部附属病院におけるリステリア症6例の検討. 第77回日本感染症学会西日本地方会総会. 2007, 11, 15. 抄録集, 72.

地方規模の学会

- 1 青木洋介：抗菌薬の種類と適正使用. 平成19年度院内感染対策講習会(九州・沖縄地区). 2007, 10, 13. 抄録集 29-37.
- 2 青木洋介：市中肺炎ガイドライン「欧米の見解」. 第59回日本呼吸器病学会九州地方会総会. 2007, 11, 27. 抄録集 48.
- 3 福岡麻美：感染症診療・感染対策における医師と技師の連携(シンポジウム). 第42回九州医学検査学会. 2007, 10, 7. 抄録集 56-57.

その他の学会等

- 1 青木洋介：市中 MRSA 感染症. マルホ皮膚科セミナー(ラジオ日経). 2007, 5, 10.